

科目名	音響基礎演習 I	形態	演習	開講期	春学期
担当教員	川井 敏生	単位	1	年次	1

＝授業科目の目標＝

めいおんホールでの音響機器の操作を中心に、音響技術の基礎を学び、自らの音楽活動・音楽制作活動に役立てる。音響基礎演習 I では、マイクロフォンの取り扱いや、音響工学の基礎を中心に学ぶ。授業目標は、めいおんホールの音響照明を含む管理と操作を行えるようになること。

＝履修の条件と学習の方法＝

やむを得なき場合を除き、欠席遅刻のないこと。(実習授業のため、人数の減少は間接的に他の受講者の履修の妨げとなる) 遅刻早退は出席扱いと認めない重量物の運搬や高所での作業なども授業内容に含まれるため、作業に適した服装で受講すること。(スカート・ハーフパンツ・サンダル・ハイヒールなどは避ける) ケガなどには十分注意をすること。作業用手袋(軍手ではなく革製のものが望ましい)などは各自用意すること。

＝授業内容＝

注・各種の項目はそれぞれ関連性が強いため、授業の進み具合により順番や若干の内容変更の可能性がある。

- 1回 ガイダンス・シラバスの確認 注意事項、基礎事項・ケーブル巻き
- 2回 マイクスタンドの使用法 立て方・たたみ方・セッティング・マイクの取付・スタンドの種類
- 3回 マイクについてマイクの種類 記憶すべきマイクの品番、指向性・吹かれ・カブリ・近接効果などの特性
- 4回 マイキング いかにか收音するか オンマイクオフマイク
- 5回 スピーカとアンプ PA用スピーカの特徴と用途 マルチウエイシステム パワーアンプ
- 6回 コネクタ・ケーブル類 マイクケーブル・スピーカーケーブル・電源ケーブル・変換ケーブルなど
- 7回 音響システムの組み方 音の入口・音の出口 操作器材 電源について
- 8回 音響用語(座学) dB・オームの法則・周波数など
- 9回 めいおんホールの使用方法 音響卓照明卓の使い方、備品の管理
- 10回 音響システムの構築1 簡易PAセットを組む
- 11回 音響システムの構築2 簡易PAセットを組む
- 12回 モニタ モニタの必要性とその意味 AUX送りを使ったモニタ操作
- 13回 まとめ 12週のまとめと、テストの作業説明・レポート提出
- 14回 イベントシュミレーション 音響システムを少人数で構築し、操作をする。
- 15回 総括 反省点とまとめ レポート返却、音響基礎演習IIに向けて

＝成績評価の方法と評価の基準＝

授業内で簡単な課題に沿って機器の操作等を行い、その作業内容から習得度をはかり、単位の認定をする。出席のみでの単位認定はしない。

＝テキスト(必携)＝

不要・必要に応じプリント配布